

## 多元系機能材料研究会企画シンポジウム

3月17日 13:00~17:40

東海大学(神奈川県平塚市北金目1117) TS会場 14号館 306

「多元系化合物のナノ領域・界面キャラクタリゼーション」  
—CIGSの物性・デバイス評価の基礎と応用—

内容説明	多元系化合物半導体を用いた太陽電池が実用化されて久しいが、この材料特有の細かな組成変化や複雑な粒界・接合界面等現象に対し、従来の基礎的な評価方法のみでは解明できない現象が多くあり、材料の物性解明やデバイス高性能化の弊害要因となっていた。本シンポジウムでは、評価技術の進歩に従い進んできたナノ領域や半導体接合界面の評価法の基礎を紹介していただくと共に、応用として CIGS 太陽電池を例にして、ナノ領域・界面評価を多元系化合物デバイス設計・作製に活用するアイデアについて議論する。
------	---

講演題目	講演時間	勤務先(略称)	講演者名
イントロダクトリートーク —CIS 太陽電池の性能向上と評価技術—	13:00~13:15	龍谷大	和田隆博
電子分光法によるバッファ層および バッファ/CIGS 層界面の電子構造評価	13:15~13:50	鹿児島大	寺田教男
HAADF-STEM による界面および局所領域評価	13:50~14:25	MST	山田智之
XAFS を用いた CuInSe <sub>2</sub> 及び 関連 Cu-In-Se 系化合物の構造に関する研究	14:25~15:00	龍谷大	山添誠司
CIGS 薄膜太陽電池における欠陥準位の電氣的評価法	15:00~15:35	筑波大	櫻井岳暁
休憩	15:35~15:50		
光 KFM による CIGS 太陽電池の表面電位 および光起電力のマッピング測定	15:50~16:25	東大生研	高橋琢二
EBIC, EBSD, SSRM による CIGS 粒界の評価	16:25~17:00	東工大	山田明
フォトルミネッセンス法を中心とした CIGS 太陽電池の光学的評価手法の開発	17:00~17:35	愛媛大	白方祥
クロージングトーク —CIGS の物性・デバイス評価の基礎と応用—	17:00~17:40	東理大	杉山睦